

阿蘇立野病院が担う 役割について



2023年8月



医療法人社団順幸会 阿蘇立野病院
理事長 上村晋一 院長 片山幸広

1 現状と課題

【自施設の現状と課題】

- 病院理念、基本方針
- 当院の沿革
- 診療実績と職員数（震災前・後）

1 現状と課題「病院理念・基本方針」

病院理念

「ぬくもりと安心の医療」

ぬくもりと安心の医療を提供できる職場であり、病院でありたい

基本方針

私達は、親しみと温かい身内の心で患者さんをお迎えします

私達は、患者さん中心の誰からも信頼される病院をめざします

私達は、自己研鑽に務め、チーム医療を充実し、質の高い医療を提供します

私達は、医療・福祉を通じて、地域の文化・環境を大切にします

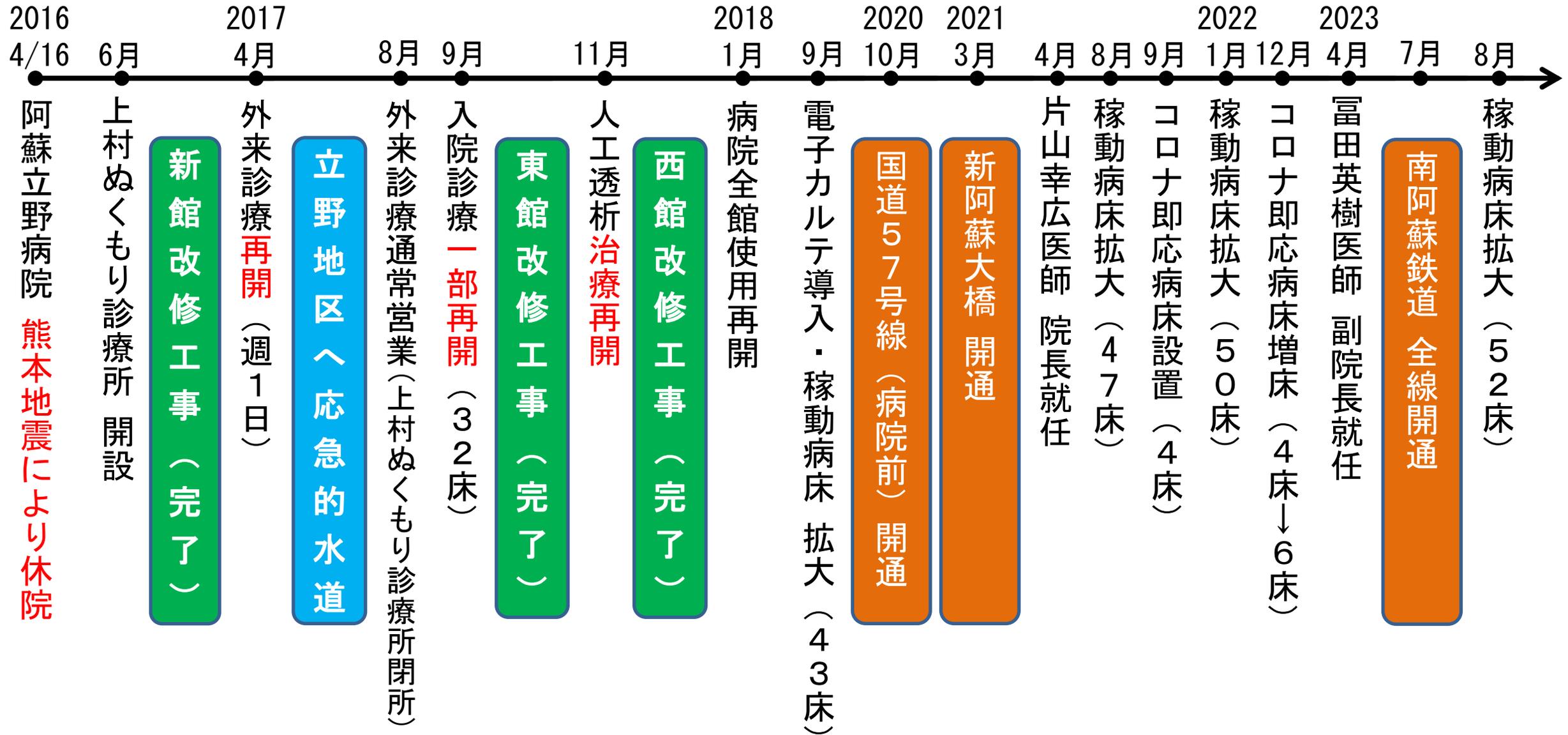
私達は、生活を共に考え、病気の治療ばかりでなく、予防にも努めます

1 現状と課題「当院の沿革（熊本地震前まで）」

- **1979年** **立野病院として、当初50床にて開設**
- 1988年 医療法人社団 立野病院へ法人化
- **1995年** **50床 → 88床へ増床（東館を増築）**
- **1997年** **医療法人社団順幸会 阿蘇立野病院に名称変更**
- 2000年 介護保険事業開始（訪問看護、訪問リハビリ、居宅介護支援事業所）
- 2002年 通所リハビリテーションセンター「すがる」開設
- 2005年 病院機能評価（日本医療機能評価機構ver.4）認定
- 2007年 九州オゾン・マグネ療法研究センター開設（自由診療）
- 2008年 健診センター、地域連携センター 開設
- 2010年 病院機能評価（日本医療機能評価機構ver.6）認定（更新）
- **2011年** **新館竣工・施設全面リニューアル**
開放型MRI導入、オーダーリングシステム導入
- **2012年** **病床転換：一般病床32 → 56床、療養病床56 → 32床**
阿蘇地域リハビリテーション広域支援センターに指定、低線量放射線CT(16列)導入
- 2013年 リハビリテーションセンター開設（脳血管I、運動I、呼吸I、がんリハ）
- **2014年** **上村順一 上村医療福祉グループ会長就任**
上村晋一 医療法人社団順幸会 理事長就任（病院長兼任）
- 2015年 病院機能評価（日本医療機能評価機構3rdG）認定（更新）、あそ統合医療研究所 開設



1 現状と課題「当院の沿革（熊本地震以降）」



医療法人社団順幸会 阿蘇立野病院

病床数：許可病床数88床

(内訳)一般病棟56床・療養病棟32床

(現状)一般病棟52床を稼動中、その他は休止中

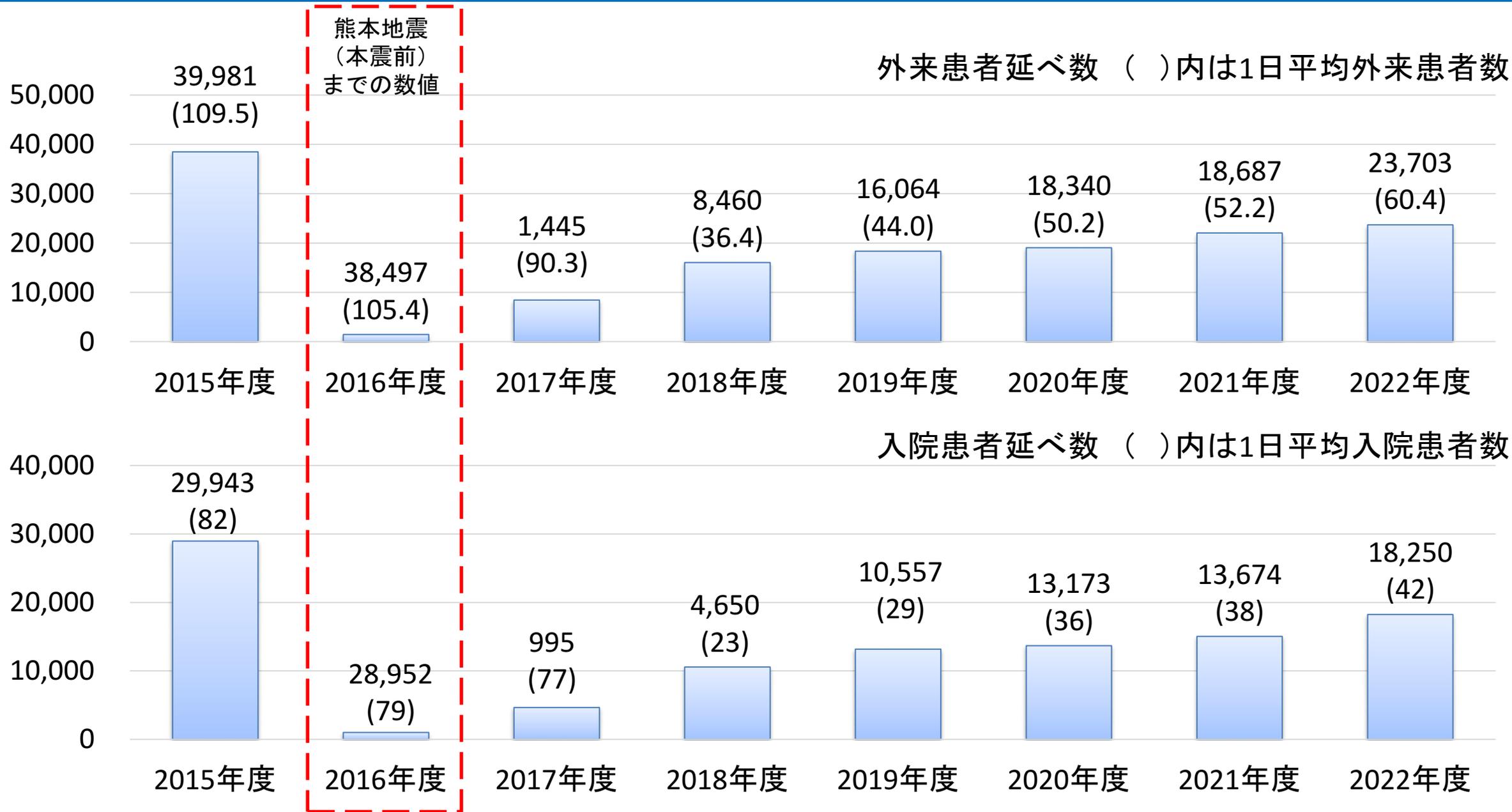
診療科：内科、消化器内科、循環器内科、代謝内科、人工透析内科、
外科、消化器外科、整形外科、心臓血管外科、泌尿器科、
放射線科、リハビリテーション科

施設基準：**救急告示、地域包括ケア病棟入院料1、在宅療養支援病院1**
脳血管リハⅡ、運動器リハⅠ、呼吸器リハⅠ など

病院機能評価：一般病院1(3rdG ver2.0/2020年4月更新)

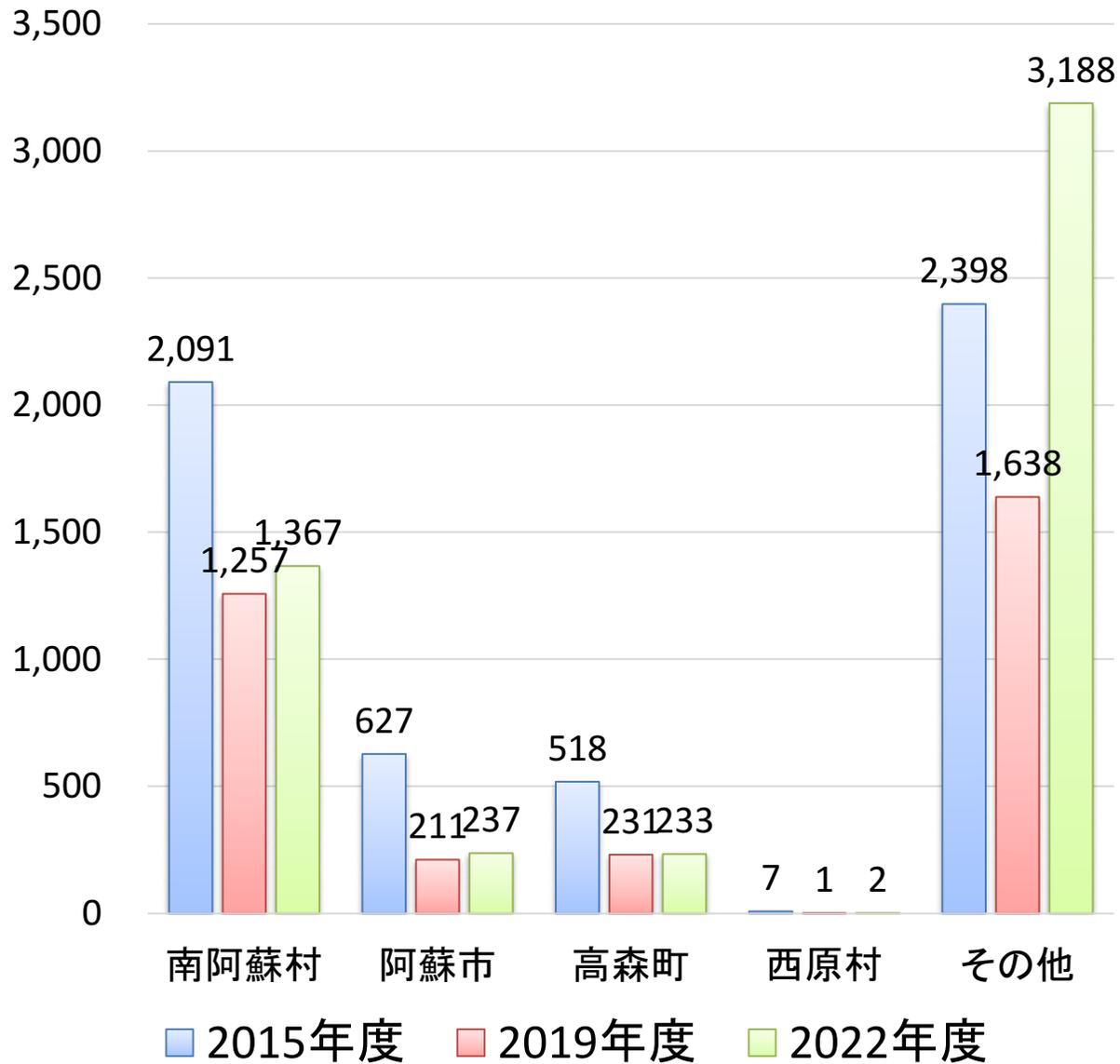
職員数：約120名

1 現状と課題 「診療実績（外来・入院患者数）」

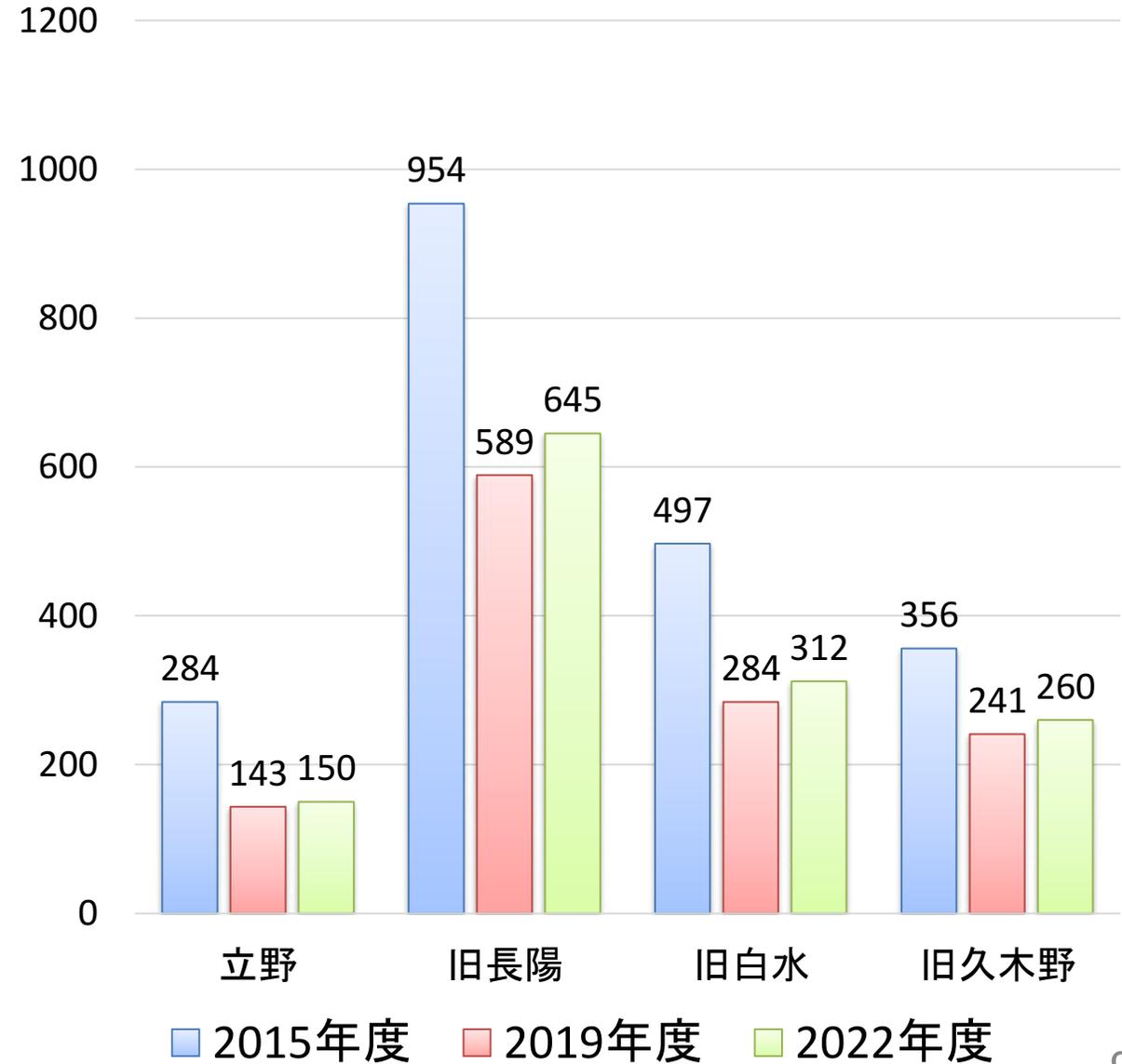


1 現状と課題 「地域別患者数の推移」 当院医事会計システム調べ

市町村別患者数(実人数)



南阿蘇村内の地域別患者数(実人数)



1 現状と課題 「診療実績（救急搬送人員統計資料）」

| | | 2014年 | 2015年 | 2016年 | 2017年 | 2018年 | 2019年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 |
|-----|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 管内 | 阿蘇医療センター | 737 | 784 | 1,096 | 955 | 870 | 878 | 888 | 839 | 984 |
| | 小国公立病院 | 385 | 399 | 346 | 357 | 374 | 354 | 223 | 264 | 395 |
| | 阿蘇立野病院 | 304 | 241 | 79 | 58 | 195 | 153 | 144 | 193 | 252 |
| | 阿蘇温泉病院 | 125 | 109 | 108 | 137 | 101 | 125 | 71 | 69 | 110 |
| | 大阿蘇病院 | 112 | 112 | 150 | 137 | 109 | 91 | 90 | 74 | 70 |
| | その他の病院 | 70 | 60 | 83 | 68 | 67 | 38 | 19 | 21 | 12 |
| | 小 計 | 1,733 | 1,705 | 1,862 | 1,712 | 1,716 | 1,639 | 1,435 | 1,460 | 1,823 |
| 管外 | 熊本赤十字病院 | 445 | 421 | 292 | 311 | 371 | 352 | 364 | 465 | 435 |
| | 済生会熊本病院 | 31 | 29 | 30 | 28 | 32 | 24 | 23 | 26 | 36 |
| | 熊本医療センター | 42 | 25 | 26 | 30 | 34 | 37 | 27 | 42 | 39 |
| | 熊本セントラル病院 | 209 | 219 | 162 | 270 | 342 | 304 | 244 | 271 | 269 |
| | その他の病院 | 194 | 206 | 311 | 260 | 214 | 219 | 212 | 183 | 209 |
| | ヘリコプター | 166 | 124 | 143 | 146 | 156 | 98 | 109 | 95 | 125 |
| | ドクターカー | 26 | 30 | 34 | 13 | 8 | 1 | 5 | 1 | 2 |
| | その他の場所 | 1 | 10 | | | | | | | |
| | 小 計 | 1,114 | 1,064 | 998 | 1,058 | 1,157 | 1,035 | 984 | 1,083 | 1,115 |
| 合 計 | 2,847 | 2,769 | 2,860 | 2,770 | 2,873 | 2,674 | 2,419 | 2,543 | 2,938 | |

(データ提供:阿蘇広域行政事務組合消防本部)

1 現状と課題「職員数（数値は常勤換算）」

| 主な職種 | ① 震災前 | ② 震災後 | | | |
|----------|---------|---------|-------|---------|-------|
| | 2016年3月 | 2019年3月 | ①との差 | 2023年3月 | ①との差 |
| 医師 | 6.7 | 3.5 | -3.2 | 5.1 | -1.6 |
| 薬剤師 | 2.5 | 1.0 | -1.5 | 1.0 | -1.5 |
| 看護師 | 36.5 | 22.2 | -14.3 | 28.9 | -7.6 |
| 准看護師 | 22.0 | 5.7 | -16.3 | 5.0 | -17.0 |
| 介護職 | 16.5 | 12.5 | -4.0 | 16.6 | +0.1 |
| 放射線技師 | 2.6 | 3.0 | +0.4 | 3.3 | +0.7 |
| 検査技師 | 3.5 | 2.5 | -1.0 | 3.5 | ±0.0 |
| 臨床工学技士 | 2.0 | 2.0 | ±0.0 | 3.0 | +0.1 |
| PT・OT・ST | 22.0 | 10.0 | -12.0 | 14.0 | -8.0 |
| 管理栄養士 | 2.0 | 1.0 | -1.0 | 1.0 | -1.0 |

2 今後の方針

【地域において今後担うべき役割】

南阿蘇地域において唯一、入院ベッドを有する病院として、

- ・(亜)急性期、回復期～慢性期(終末期)医療を提供する
- ・入院、外来、在宅(訪問)いずれにも対する
- ・介護施設等との連携により、地域の医療・介護を支える

⇒ 在宅療養支援病院としての役割を果たす

2 今後の方針「参考：南阿蘇地域の医療・介護施設の状況」

令和5年8月1日現在（ ）内はベッド数、ショートステイは含まない

◆ 医療機関 ◆

・南阿蘇村

阿蘇立野病院(88)、上村医院(0)、藤本医院(0)、寺崎内科胃腸科クリニック(0)、渡邊内科(0)、南阿蘇原眼科(0)

・高森町

良見内科医院(0)、南郷谷リハビリテーションクリニック(0)、渡邊総合内科クリニック(0)

・西原村

俵山クリニック(0)、いしだクリニック(0)

■ 介護施設等 ■

・南阿蘇村

老健 リハセンターひばり(50)、特養 陽ノ丘荘(60)、特養 水生苑(50)、養護 湯の里荘(50)

GH陽なたぼっこ(18)、GHみなみ阿蘇(18)、GHつばめ(9)、有料はなみずき(18)、有料サンアントムーン(16)

・高森町

特養 梅香苑(80)、特養 ひめゆり(29)、GHあそ和楽(18)、GHあそ喜楽(9)、有料 結楽(14)

・西原村

特養 みどりの館(40)、GHみどり(9)、有料そよ風(53)

人口と高齢化率の推移（南阿蘇村・阿蘇市）

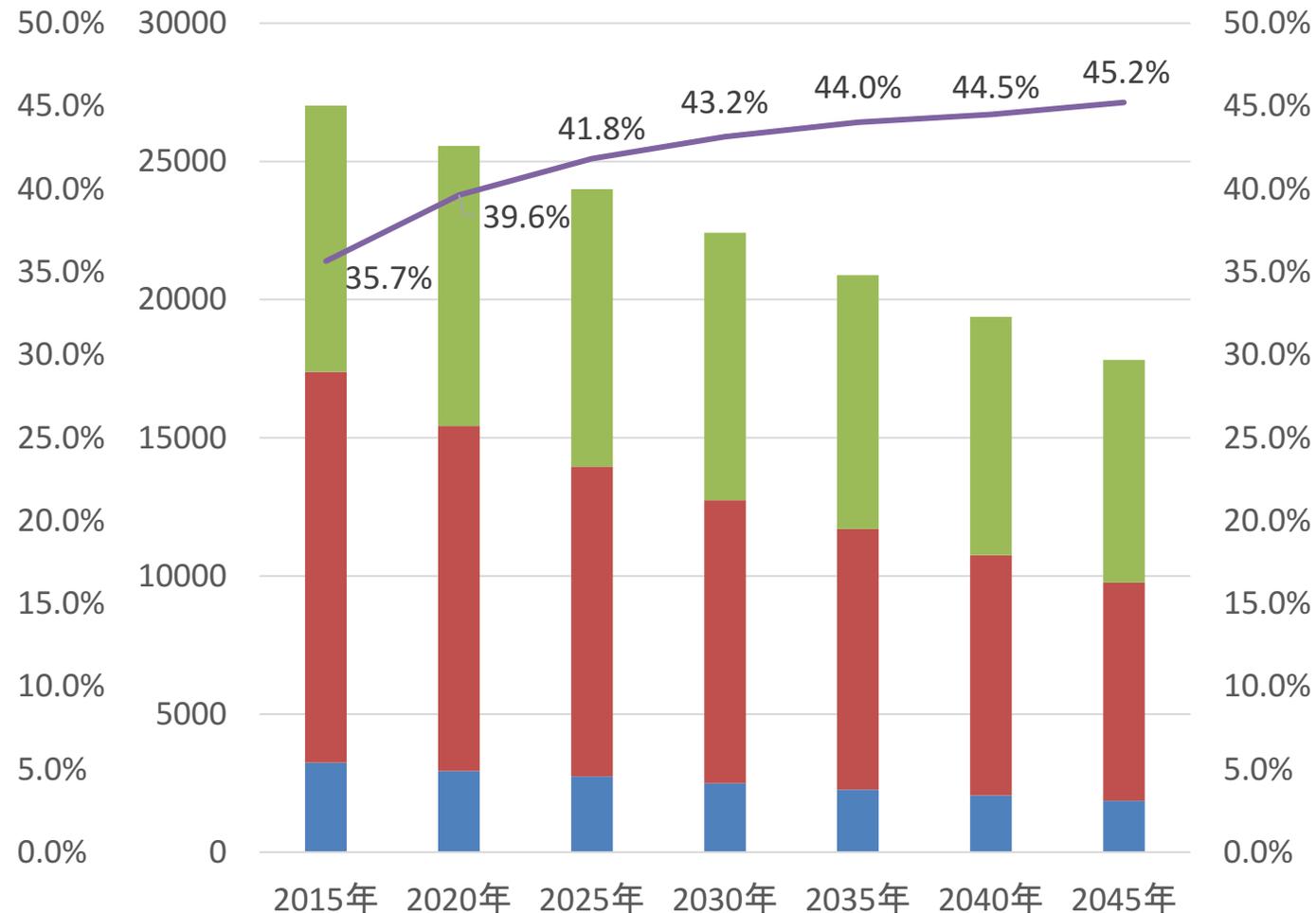
日本の地域別将来推計人口／国立社会保障・人口問題研究所データを再編集

南阿蘇村



■ 年少人口(0~14歳) ■ 生産年齢人口(15~64歳)
■ 高齢者人口(65歳以上) — 高齢化率

阿蘇市

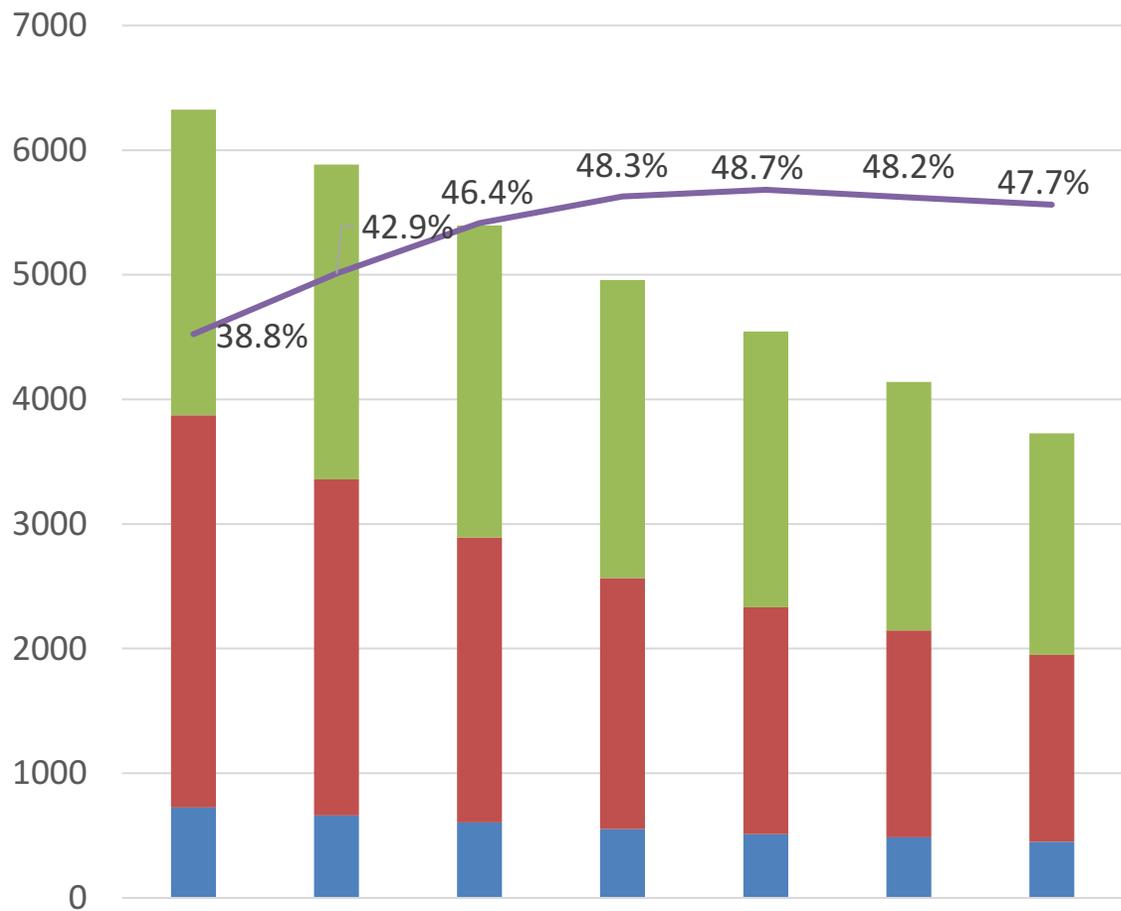


■ 年少人口(0~14歳) ■ 生産年齢人口(15~64歳)
■ 高齢者人口(65歳以上) — 高齢化率

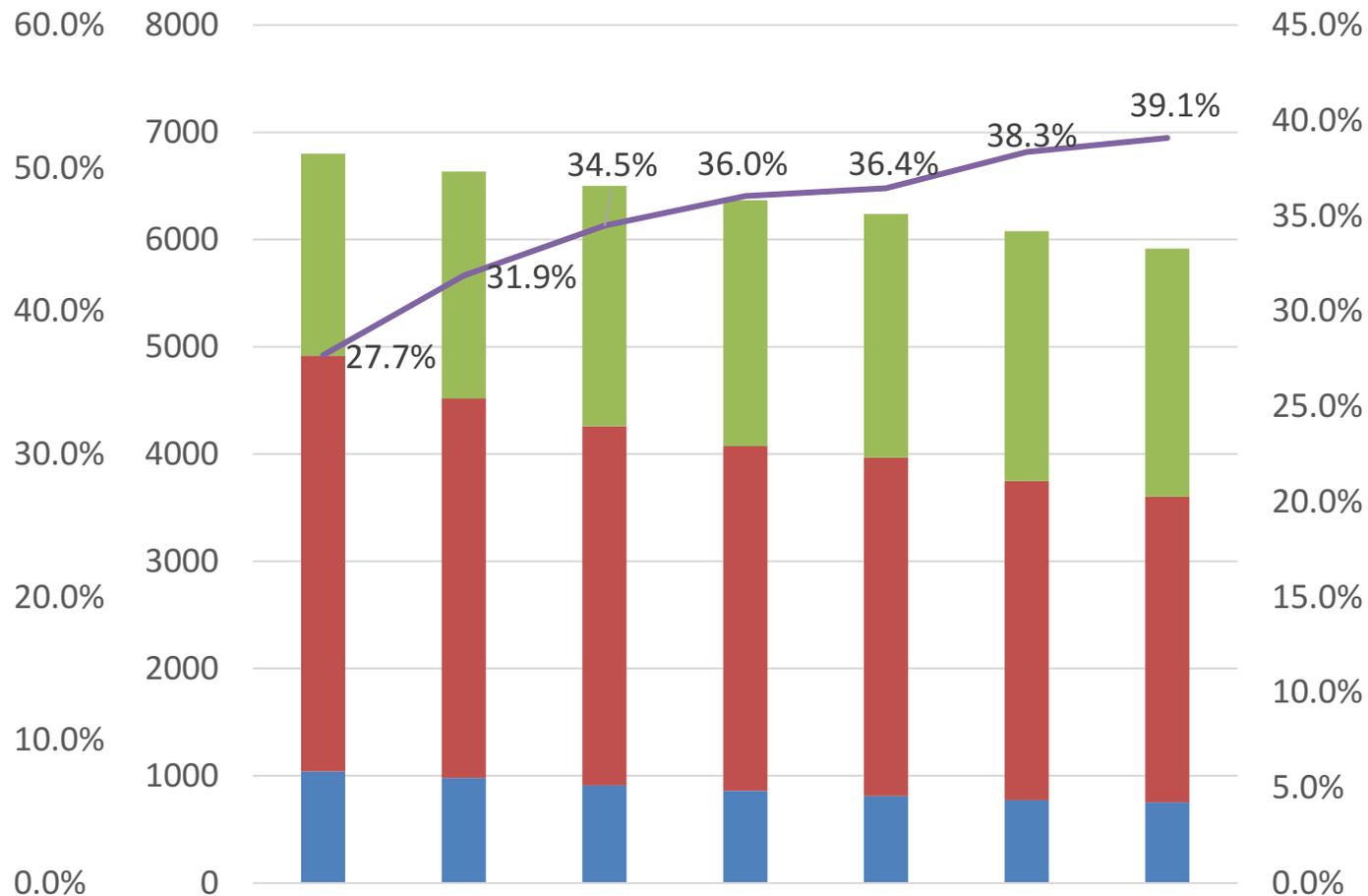
人口と高齢化率の推移（高森町・西原村）

日本の地域別将来推計人口／国立社会保障・人口問題研究所データを再編集

高森町



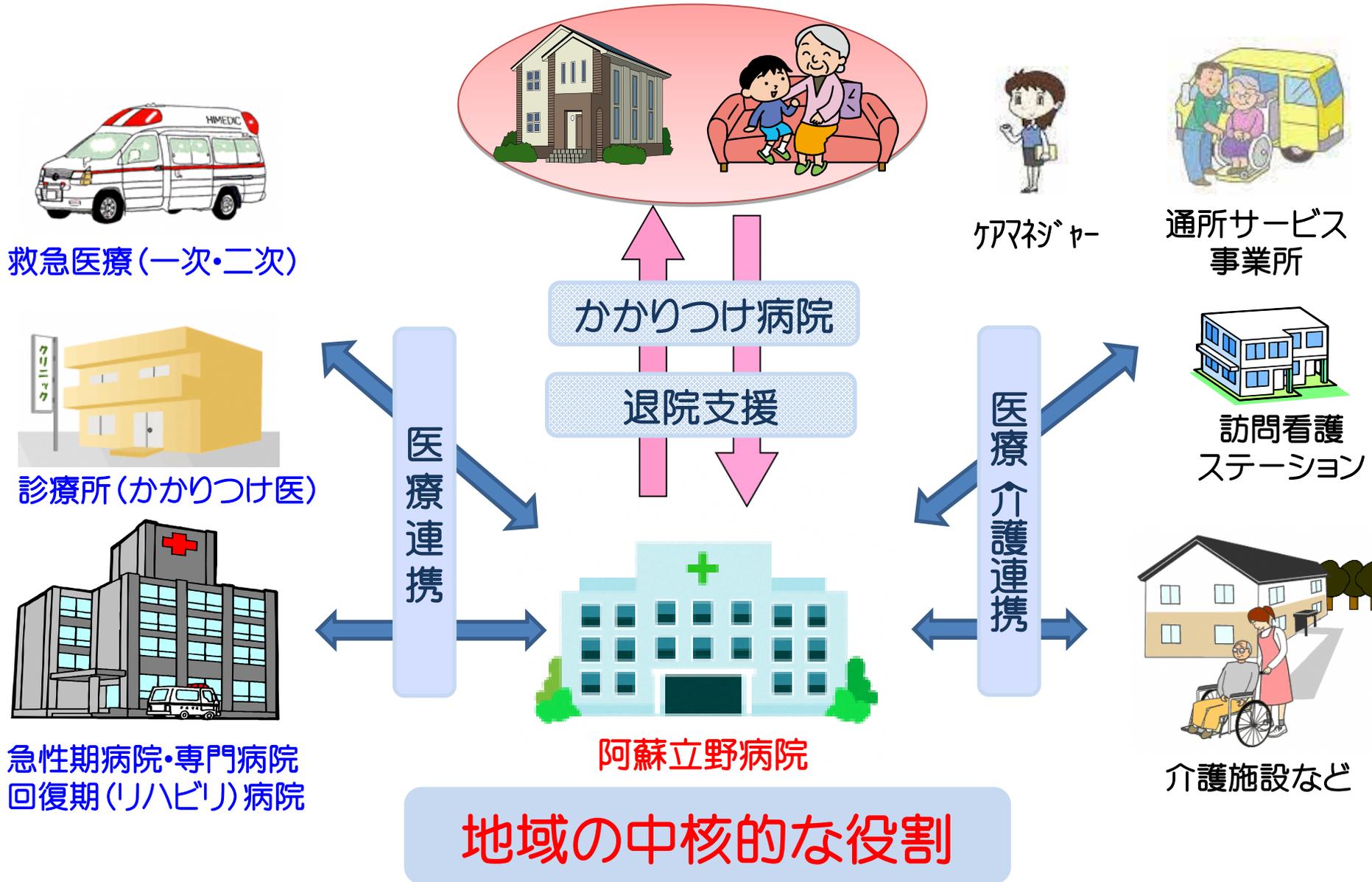
西原村



■ 年少人口(0~14歳) ■ 生産年齢人口(15~64歳)
■ 高齢者人口(65歳以上) — 高齢化率

■ 年少人口(0~14歳) ■ 生産年齢人口(15~64歳)
■ 高齢者人口(65歳以上) — 高齢化率

2 今後の方針「これまでも、これからも担うべき阿蘇立野病院の役割」



3 具体的な計画

(1) 今後提供する医療機能に関する事項

【① 4機能ごとの病床のあり方 その1】

単位：床

| 病床機能 | 2017年(平成29年) | 2023年(令和5年) | 2025年(令和7年) |
|-------|--------------|------------------|-------------|
| 高度急性期 | 0 床 | 0 床 | 0 床 |
| 急性期 | 0 床 | 0 床 | 0 床 |
| 回復期 | 32 床 | 56 床 地域包括ケア病棟 | 60 床 |
| 慢性期 | 0 床 | 0 床 | 0 床 |
| その他 | 休止中の病床56床 | 休止中の病床 32床 | 0 床 |
| 合計 | 88 床 | 88 床 | 60 床 |

病院再開以降、看護職や介護職の確保が難航しており、休止中の療養病床の再開や介護医療院等への転換も厳しい状況が続いている。⇒1病棟(60床)へのダウンサイジングを検討中

3 具体的な計画

(1) 今後提供する医療機能に関する事項

【②診療科の見直し】

| | 現時点 (平成31年2月時点) | 2025年 | 理由・方策 |
|-------|---|-------|-------------------------------------|
| 維持 | 内科、外科、消化器内科、消化器外科、循環器内科、代謝内科、整形外科、泌尿器科、人工透析内科、リハビリテーション科、放射線科 | 同左 | 現任医師の専門性と需要を考慮しており、必ずしも病床機能に則していない。 |
| 新設 | 未定 | 未定 | 医師確保の状況次第 |
| 廃止 | 未定 | 未定 | 医師確保の状況次第 |
| 変更・統合 | 未定 | 未定 | 医師確保の状況次第 |

3 具体的な計画 (2) 数値目標

| | 現時点 (2023年4月時点) | 2025年 |
|--------|--|--|
| ①病床稼働率 | 地域包括ケア病棟 50床 2022年4月～2023年3月 82.4% | 地域包括ケア病棟 60床 全体で 90% 以上 の病床稼働率を目標とする |
| ②紹介率 | 2022年4月～2023年3月 16.6% | 20% |
| ③逆紹介率 | 2022年4月～2023年3月 16.2% | 20% |

- <記入要領>
- 公的医療機関等は、病床稼働率、紹介率、逆紹介率を2025プランから転記してください。
 - 公的医療機関及び民間医療機関は、次の算定式により上記の数値を算出し、記入してください。
(※紹介率、逆紹介率は当該データがあれば記入してください。
⇒ 病床稼働率(%) = (病床機能報告における)在棟患者延べ数 / (許可病床数 × 365) × 100
⇒ 紹介率(%) = 紹介患者の数 / 初診患者の数 × 100
⇒ 逆紹介率(%) = 紹介患者の数 / 初診患者の数 × 100

3 具体的な計画

(3) 数値目標の達成に向けた取組みと課題

| | 2025年の数値目標 | 取組みと目標 |
|--------|--|--|
| ①病床稼働率 | 地域包括ケア病棟 60床 全体で 90% 以上 の病床稼働率を目標とする | <ul style="list-style-type: none">・看護、介護人材確保・救急医療の維持向上・地域連携(入退院支援)の促進 |
| ②紹介率 | 20 % | <ul style="list-style-type: none">・医師の確保・リハビリテーションの充実・医療機関、介護施設等との連携促進 |
| ③逆紹介率 | 20 % | <ul style="list-style-type: none">・CT、MRIなどの医療資源活用・くまもとメディカルネットワークなど医療DXの活用促進 |

4 その他特記事項

【当院の病床削減と病床区分の変更について】

- ◆ 熊本地震により病院を休院し、病床再開まで約1年半を要した。
- ◆ 再開当初、32床から少しずつ実働病床を増やしてきたが、看護師などのスタッフ確保に難渋しており、以前の88床へ戻す見通しが立たない。
- ◆ 2023年8月現在の病床編成
許可病床数88床（内訳：一般病棟56床、療養病棟32床）
⇒実働病床数52床（一般病棟4床、療養病棟32床は休止中）
- ◆ 今後は1病棟体制（一般病棟60床）へ縮小することを検討している。